

「おおぶ男女共同参画プランVIさんかく！おおぶ」中間見直し（案）に対する意見の概要と市の考え方

ページ	意見の概要	市の考え方
27	<p>・基本目標2(3) ①エ「性的少数者の人権を尊重するための啓発を行う」に「啓発や教育を行う」としてください。</p> <p>・指標として保育士・幼稚園教諭・義務教育学校教諭・保護者に対するジェンダー平等に関する研修の開催を入れてください。</p>	<p>基本目標2(3)では、「男女共同参画についての意識啓発及び学習の場の提供」と位置づけており、男女共同参画をはじめ性的少数者の人権尊重に関する知識などを広く普及するため、市民向けの啓発や学習の場を提供することとしています。また、教育の場における取組については、(4)の「男女平等と自立を目指す学校教育」において、推進してまいります。本計画では、教育現場をはじめ、子どもに関わる関係者や保護者を含めた市民の理解促進を重要な視点として位置づけています。具体的な研修内容等については、関係部局と連携しながら、計画に基づく各種取組の中で総合的に推進してまいります。</p>
27	<p>・基本目標2(3) ①の施策の内容に「性別役割分担意識に反対する人の割合」を増やすための具体的な施策を明記してください。</p>	<p>固定的性別役割分担意識の解消は、本計画全体を通じた重要な課題であり、意識啓発、教育、広報、学習機会の提供など、各施策の中で横断的に取り組むこととしています。今後も、計画に基づき、関係部局と連携しながら、各種取組を総合的に推進してまいります。</p>
34	<p>・基本目標4(10) ①イ 学校教育において、性教育を「包括的性教育」として行ってください。</p> <p>知識としてだけでなく、人権として性の多様性を尊重する教育をすすめてください。</p>	<p>本計画では、学校教育における人権教育や性の多様性への理解促進を重視しており、発達段階に応じた教育の充実を図ることとしています。具体的な教育内容については、国や県の動向、教育現場の状況を踏まえながら、計画に基づき取り組んでまいります。</p>

35、36	<p>・DV被害を含め、男性特有の生きづらさや悩みを抱える人への支援について、女性だけでなく男性も相談できる体制の充実や、相談窓口のあり方を検討してほしい。</p>	<p>DVや生きづらさに関する悩みは、性別を問わず生じるものであり、本計画においても、誰もが安心して相談できる体制づくりを重要な視点として位置づけています。</p> <p>男性からの相談については、愛知県の相談実績をみると、女性と比較して件数が少ない状況にあることから、現時点では、市独自で新たな窓口を設置するというよりも、愛知県が設置している相談窓口などの広域的な支援体制と連携するとともに、市としても適切な情報提供や周知に努め、必要な支援につなげてまいります。</p>
4、24	<p>・先回の「おおぶ男女共同参画プランⅣ」において、審議会等委員の女性の割合を40%～60%にすることを目標として掲げられていましたが、令和6年度には女性登用率が50.1%となっており、大変感動しました。大府市の「おおぶ男女共同参画プランⅣ」実現に向けてのご努力の賜物だと感じ入っています。</p>	<p>本市の取組に対し、前向きなご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>今後も、審議会等への女性登用を含め、男女共同参画の視点を市政全般に反映できるよう、継続して取り組んでまいります。</p>
22～24	<p>・市職員女性管理職の登用推進も大いに進めてください。子育てや女性にかかわる分野だけでなく、「安心して暮らし続けることができる」まちづくりや産業振興など、どの施策においても女性目線を生かす行政システムを築いてください。</p>	<p>本計画では、市管理職への女性の登用や人材育成、働きやすい職場環境づくりを重要な施策として位置づけています。</p> <p>今後も、育児や介護等と両立できる柔軟な働き方の実現、性別に関わらず多様な人材が活躍できる環境整備を進め、計画に基づき取組を推進してまいります。</p>

P5	・男女の地位の平等感や固定的性別役割分担意識調査を見ると、今後の大きな課題だと思いました。教育の場、家庭、地域の中で啓発を超えた取り組みをしていただきたい。	本計画では、教育・家庭・地域・職場など、あらゆる分野における取組を包含しております。今後も、関係主体と連携しながら、計画的に推進してまいります。
----	--	--